

関西経済レポート

全体的には厳しい状況が続く中、3月の鉱工業生産が低水準ながらも前月比プラスに転じるなど、様々な指標で下げ止まりの兆しが伺える。

今後、消費等への経済対策の効果がどう顕在化してくるか注目される。また逆に新型インフルエンザによるマイナスの影響がどこまで続くかが懸念材料。

2009年6月1日

関経連経済調査部

(担当：田村・矢野・西村)

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
輸出入	2
生産	4
設備投資	5
倒産	6
雇用	7
個人消費	9
住宅投資	11
公共事業、株価為替の動き	12
今後の経済見通し	13

～政府・日銀の景気判断～

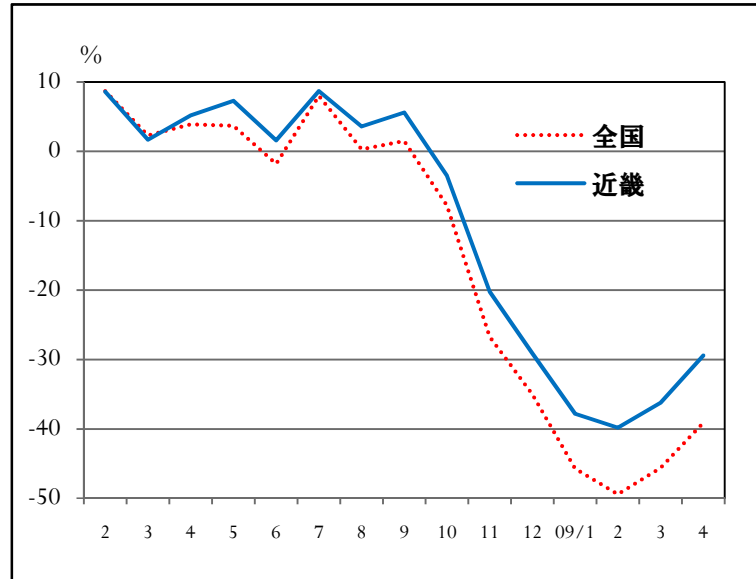
	近畿地域金融経済概況		最近の管内金融経済事情		金融経済月報		月例経済報告	
	近畿	日銀大阪支店	中部	日銀名古屋支店	全国	日銀	全国	内閣府
2008年6月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	↘	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる
2008年7月	↘	減速している。	↘	引き続き高水準にあるが、足もとは減速がはっきりしてきている	↘	さらに減速している。	⇒	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる
2008年8月	⇒	減速している。	⇒	引き続き高水準にあるが、減速がはっきりしてきている	↘	停滞している。	↘	このところ弱含んでいる。
2008年9月	⇒	減速している。	⇒	なお高水準を保っているものの、はっきりとした減速が続いている。	⇒	停滞している。	⇒	このところ弱含んでいる。
2008年10月	↘	停滞している。	↘	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇒	停滞している。	↘	弱まっている。
2008年11月	⇒	停滞している。	⇒	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	↘	停滞色が強まっている。	↘	弱まっている。さらに下押し圧力が急速に高まっている。
2008年12月	↘	停滞色を強めている。	↘	急速に下降している。	↘	悪化している。	↘	悪化している。
2009年1月	↘	悪化している。	⇒	急速に下降している。	↘	大幅に悪化している。	↘	急速に悪化している。
2009年2月	↘	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	↘	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年3月	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年4月	↘	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年5月	⇒	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	↗	引き続き下降しているが、その度合いは緩やかになっている。	↗	わが国の景気は悪化を続けているが輸出や生産は下げ止まりつつある	↗	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。

○日銀大阪支店は5月の景況判断を「**大幅に悪化しており、厳しい状況にある**」とした（4月から継続）。

- ・「輸出は前年比で見ると大幅に減少しているが、足もとの減少テンポは緩やかになっている。設備投資は、高水準ながら減少幅が拡大している。個人消費は、雇用者所得が減少する中、弱い動きが続いている。公共投資は低調である。こうした需要動向のもと、生産は、大幅な減少が続いている」とした。
- ・在庫は、「増加に歯止めがかかりつつある」から、「減少に転じている」と判断を修正した。
- ・雇用者所得は、「賃金に弱い動きがみられ、緩やかに減少している」から、「賃金に一段と弱い動きがみられ、減少している」に判断を修正した。

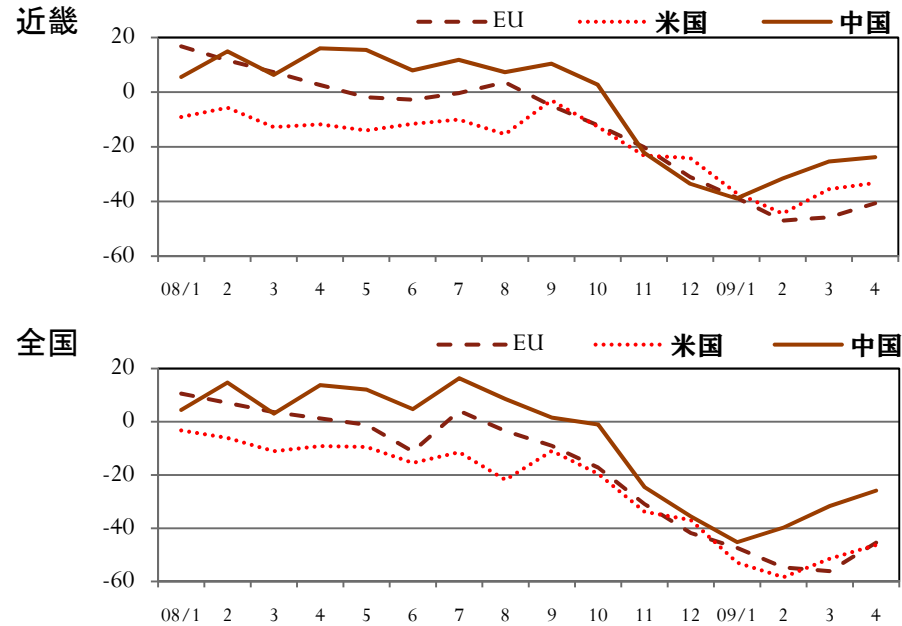
～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移（09年4月速報まで）



出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

地域別・商品別輸出内容比較



○関西の月次の輸出動向（09年4月速報まで）

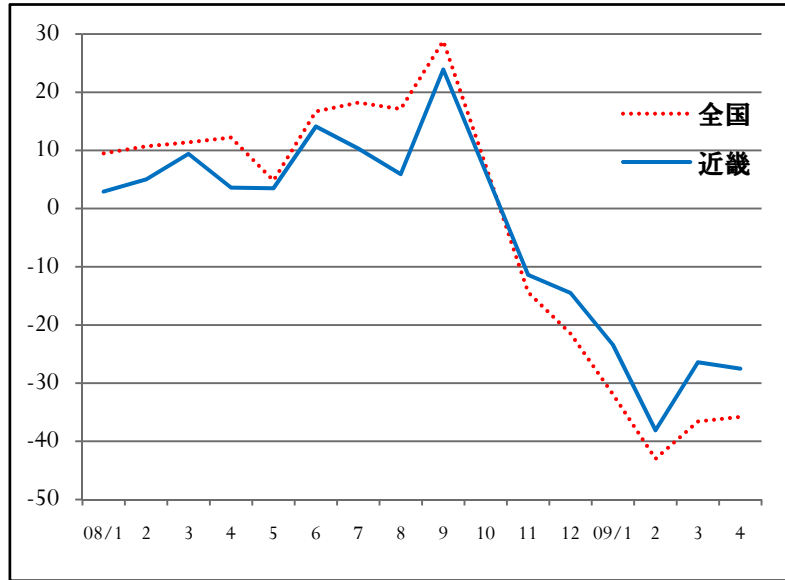
- ・09年4月の関西の輸出は前年同月比▲29.4%と7カ月連続のマイナスではあるものの、2カ月連続でマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲27.7%、中国▲23.8%、EU▲40.7%、米国▲33.2%。すべての主要地域向けでマイナス幅が縮小。商品別では、建設用・鉱山用機械、半導体等電子部品、自動車、鉄鋼が減少に寄与。
- ・食料品、鉱物性燃料、化学製品(医薬品等)、電気機器(映像機器、通信機等)はじめ、多数の業種でマイナス幅が縮小。

* 網掛は、マイナス幅の縮小した商品

商品名	近畿		全国	
	3月	4月	3月	4月
全体	▲36.2	▲29.4	▲45.5	▲39.1
食料品	▲18.4	▲4.7	▲7.9	▲2.8
原料品	▲33.5	▲25.7	▲35.2	▲27.2
鉱物性燃料	▲59.6	▲43.2	▲49.6	▲47.3
化学製品	▲28.7	▲18.8	▲31.5	▲24.8
原料別製品	▲32.8	▲28.0	▲37.7	▲34.6
一般機械	▲43.8	▲44.3	▲47.1	▲44.6
電気機器	▲30.5	▲18.7	▲43.9	▲33.9
輸送用機器	▲45.9	▲47.4	▲58.4	▲53.3
その他	▲37.4	▲28.3	▲36.7	▲24.4

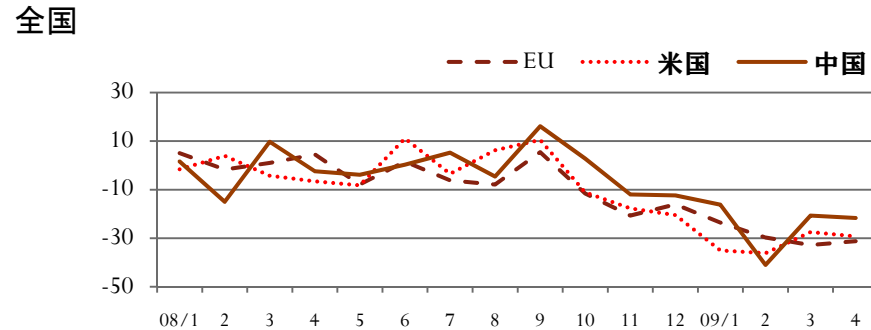
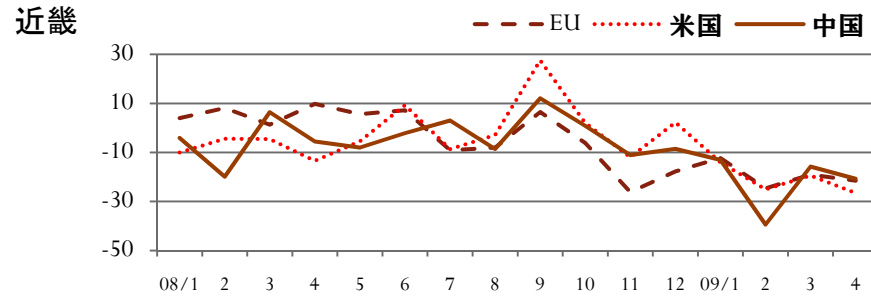
～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（09年4月速報まで）



出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

地域別・商品別輸入内容比較



* 網掛は、マイナス幅の縮小した商品

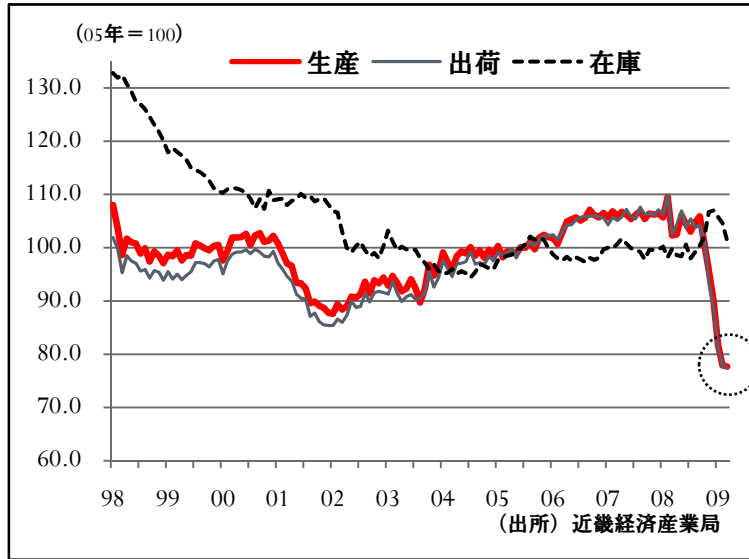
○関西の月次の輸入動向（09年4月速報まで）

- ・ 09年4月の関西の輸入は前年同月比▲27.5%と6カ月連続の減少。前月(3月)からは若干マイナス幅が拡大。
- ・ 地域別では、アジア▲23.8%、EU▲21.5%、中国▲20.7% 米国▲26.5%。特に、中国と米国のマイナス幅が拡大した。
- ・ 商品別では原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、非鉄金属、事務用機器等が減少に寄与。原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスについては、価格下落の影響が大きい。
- ・ 前月からマイナス幅が縮小した業種は、原料品、鉱物性燃料、電気機器。

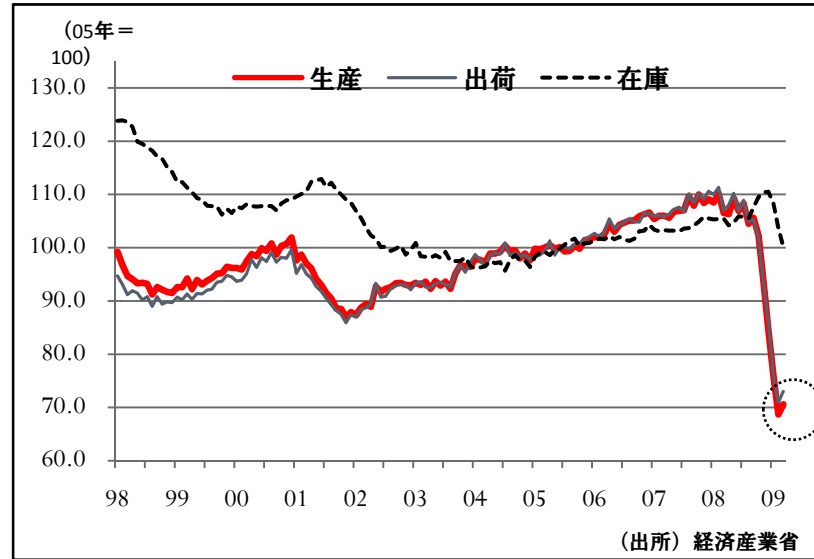
商品名	近畿		全国	
	3月	4月	3月	4月
全体	▲26.4	▲27.5	▲36.6	▲35.8
食料品	▲5.9	▲15.7	▲13.2	▲17.6
原料品	▲44.4	▲41.6	▲47.4	▲42.5
鉱物性燃料	▲41.3	▲39.3	▲50.6	▲49.0
化学製品	▲16.3	▲16.6	▲24.9	▲19.4
原料別製品	▲35.2	▲41.0	▲40.9	▲46.5
一般機械	▲35.8	▲36.3	▲32.2	▲33.1
電気機器	▲33.1	▲28.1	▲37.2	▲33.0
輸送用機器	▲25.6	▲32.9	▲34.6	▲39.9
その他	▲2.6	▲8.7	▲13.1	▲12.7

～生産～

鉱工業指数の推移（前月比 近畿 09年3月確報まで）



鉱工業指数の推移（前月比 全国 09年3月確報まで）



業種別鉱工業生産指数（前月比）

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食品 たばこ
近畿2月	▲4.7	▲8.5	▲13.0	9.6	▲13.5	2.1	▲9.4	▲16.1	1.4	2.4
近畿3月	0.4	▲8.4	3.4	▲1.9	11.9	25.5	▲1.2	▲6.5	▲0.8	▲3.7
全国3月	1.6	▲4.0	▲2.9	5.4	5.9	1.5	10.4	3.1	1.1	▲1.6

*網掛は、前月よりマイナス幅が縮小した
もしくは、前月より生産が増加した業種

(出所) 近畿経済産業局

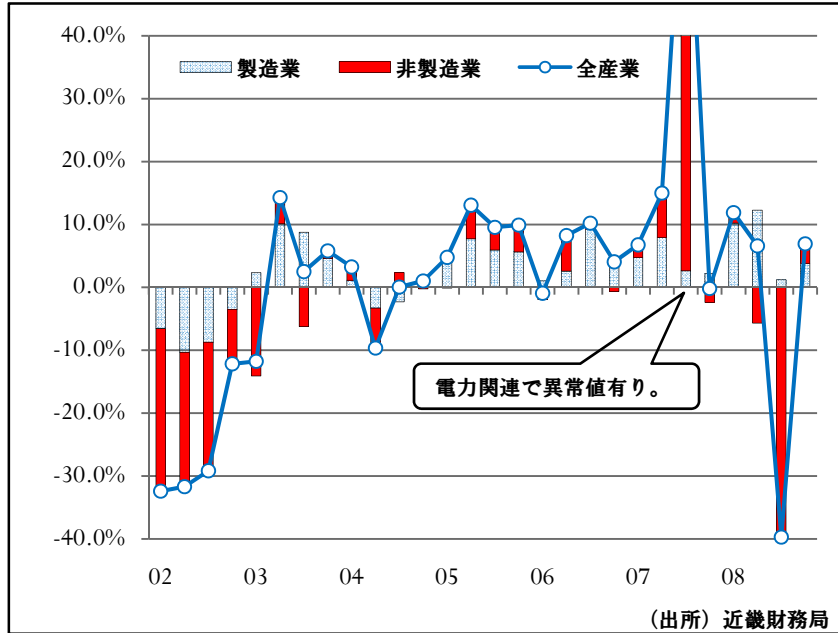
・近畿の生産は、前月比0.4%と6カ月ぶりに上昇。（前年同月比は▲23.2%と6ヶ月連続の低下）。在庫は、前月比▲3.6%と3カ月連続の低下。出荷は前月から増減なしで、6カ月ぶりに下げ止まる兆し。前月から生産が増加した業種は、金属製品工業、電気機械工業、情報通信機械工業など。在庫調整が進み、生産は下げ止まりの兆し。

・全国の3月（確報）の鉱工業生産指数は70.6と前月比+1.6%と6カ月ぶりに上昇。電子部品・デバイス工業、一般機械工業、電気機械工業が上昇に寄与。出荷も同+1.5%で6カ月ぶりに上昇、在庫は同▲3.6%。

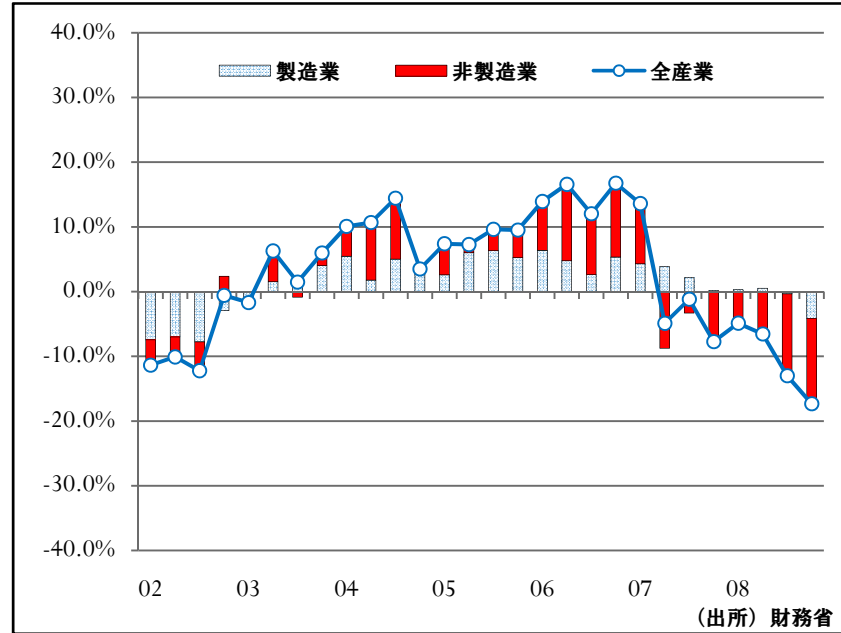
・製造工業生産予測調査（4月調査）によると4月生産は前月比+4.3%、5月生産は+6.1%の見込み。化学工業・輸送機械・電子部品デバイスなどが牽引。

～設備投資～

設備投資額前年同期比（～08年10～12月期・近畿）



設備投資額前年同期比（～08年10～12月期・全国）



○09年3月発表の法人企業統計（08年10～12月期）による（金融業・保険業を除く・含むソフトウェア）。

- ・近畿地区の08年10～12月期の設備投資は前年同期比6.9%増。製造業を中心に依然増加基調にある。ただし、大阪湾ベイエリアを中心とした投資計画の見直しが相次いで報道されるなど、先行きは弱含み。
- ・全国の08年10～12月期の設備投資は前年同期比▲17.3%。特に07年以降は非製造業を中心に低迷が続く。

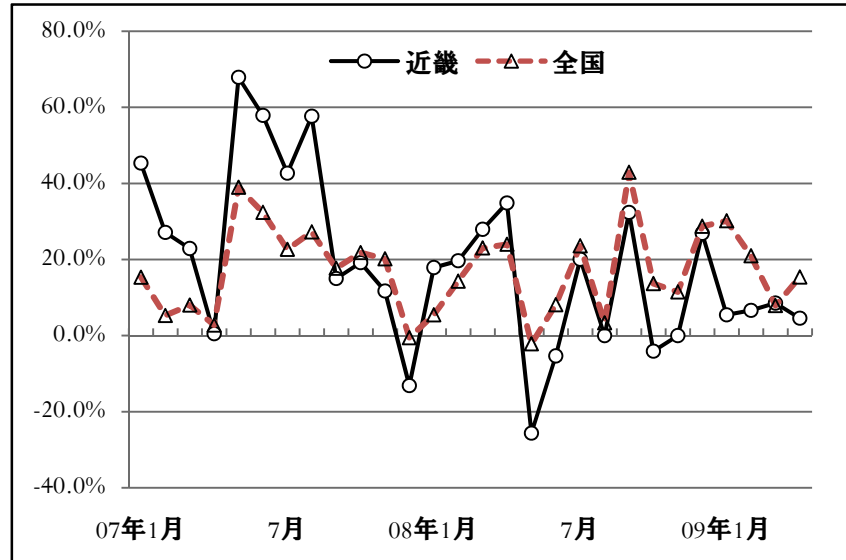
○日銀短観によると、09年度の設備投資額は、前年比マイナス。特に、製造業の中小企業で大幅減。
 ・近畿は、08年度非製造業は大幅増となったが、09年度はマイナスが見込まれる。

【参考】短観 設備投資額(09年3月調査)

	全国		近畿	
	08年度：前回調査比	09年度	08年度：前回調査比	09年度
全産業	▲5.4(▲2.7)	▲14.3	2.5(▲3.3)	▲8.1
大企業	▲3.3(▲3.1)	▲6.6	0.9(▲3.6)	▲6.5
中小企業	▲12.0(▲0.5)	▲35.6	2.5(3.3)	▲16.7
製造業	▲4.3(▲4.3)	▲20.0	▲2.1(▲4.1)	▲11.0
大企業	▲2.4(▲4.7)	▲13.2	▲1.6(▲4.4)	▲9.1
中小企業	▲8.5(▲1.0)	▲42.2	▲18.1(▲3.0)	▲34.3
非製造業	▲6.0(▲1.8)	▲11.2	7.5(▲2.6)	▲5.3
大企業	▲3.8(▲2.2)	▲2.7	3.7(▲2.7)	▲3.7
中小企業	▲13.7(▲0.3)	▲32.1	16.0(6.6)	▲8.5

～倒産～

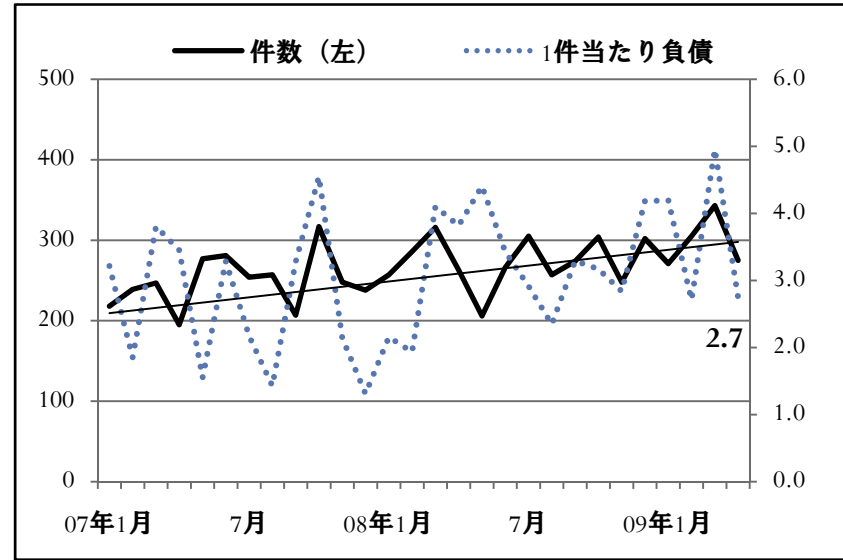
倒産件数・前年同月比の推移（07年1月～09年4月）



(出所) 帝国データバンク

・ 09年4月の近畿の倒産件数は275件（前年比+4.6%）と増加した（全国1,169件：+15.4%）。

近畿の倒産件数と1件当たり負債総額の推移



(出所) 帝国データバンク

・ 近畿の倒産件数は07年5月以降24か月連続で200件を超える。中規模企業の構成比が増えてきており、1件あたり負債総額も漸増傾向。

4月以降の近畿の大型倒産

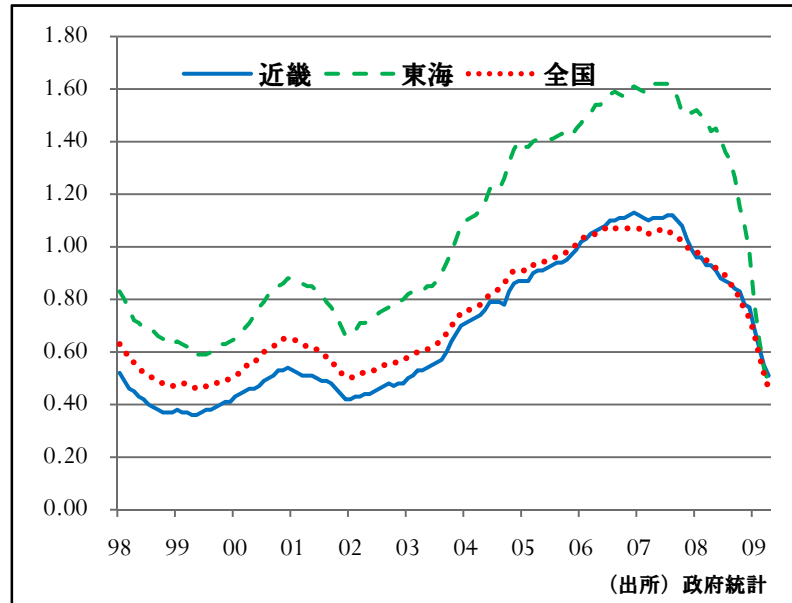
4月	倒産会社	業種	負債総額 (億円)
	(株)ライフステージ	大阪 マンション販売代理	114
	ウェスト・ハウス(株)	大阪 戸建分譲	81
	(株)三和実業	大阪 商業印刷	59
	(株)アトラス	大阪 建材製造卸	50

(単位：億円)

(出所) 帝国データバンク

～雇用～

有効求人倍率の推移（09年4月まで）



09年6月末までの非正規労働者の雇い止め状況（5月調査）

（就業形態別の全国の集計結果）

	合計	派遣	契約（期間工等）	請負	その他
期間満了	115,510	65,319	37,105	6,802	6,284
解雇・中途解除	87,353	60,328	8,481	8,569	9,975
不明	13,545	9,418	1,514	1,424	1,189
合計	216,408	135,065	47,100	16,795	17,448

（都道府県別の集計結果：多い順）

①愛知県	35,986	16.6%
②長野県	9,688	4.5%
③静岡県	8,841	4.1%
④三重県	8,551	4.0%
⑤神奈川県	7,367	3.4%

近畿	19,230	8.9%
滋賀県	5,812	2.7%
京都府	2,778	1.3%
大阪府	4,177	1.9%
兵庫県	4,104	1.9%
奈良県	1,599	0.7%
和歌山県	760	0.4%

（出所）厚生労働省

地域別有効求人倍率（09年4月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.46	0.32	0.34	0.56	0.45	0.48	0.48	0.51	0.56	0.56	0.40
▲0.06	▲0.06	▲0.02	▲0.08	▲0.05	▲0.04	▲0.06	▲0.04	▲0.05	▲0.02	▲0.03

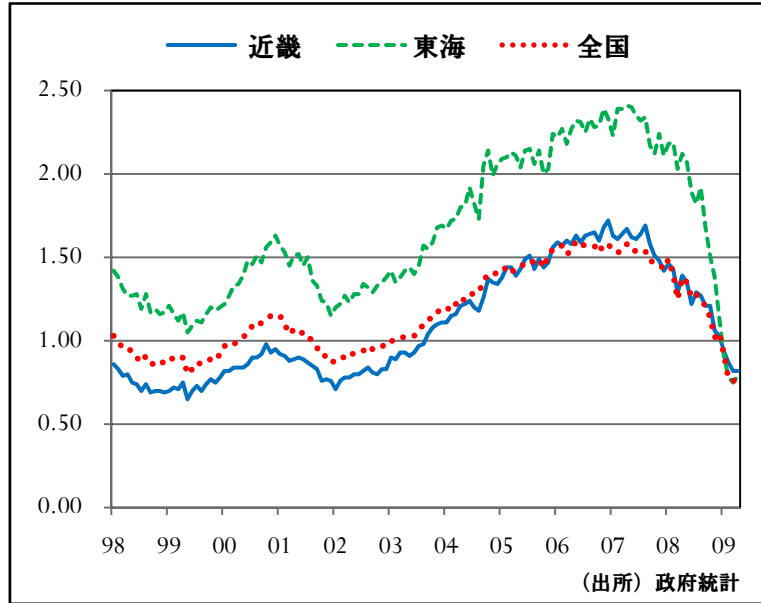
（出所）政府統計

- ・ 09年4月の近畿の有効求人倍率は0.51と前月比▲0.04と前月から悪化。63年以降の最低値は99年4～5月の0.36。
- ・ 全国は、0.46倍で前月比▲0.06。63年以降では、99年5～6月に並ぶ低水準。

- ・ 厚生労働省の発表（5月調査）によると、6月までに雇い止めとなる非正規労働者は216,408人と、12月調査開始以降、増加している。

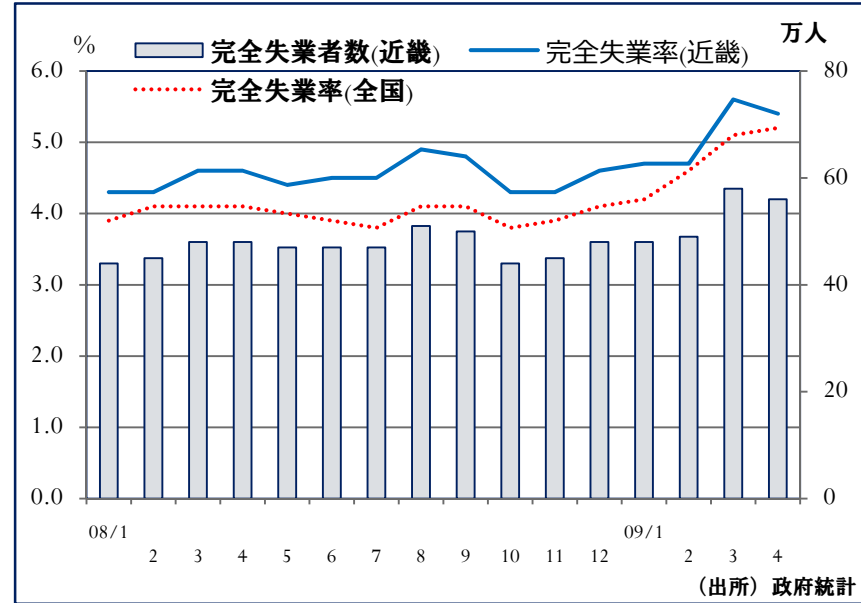
～雇用～

新規求人倍率の推移 (09年4月まで)



- ・ 09年4月の近畿の新規求人倍率は0.82倍、前月から横ばい。
- ・ 全国は0.77倍。前月(0.76倍)からほぼ横ばい。(63年以降の近畿の最低値は、0.65倍(99年5月))

失業率の推移 (09年4月まで)



- ・ 09年4月の近畿の失業率は5.4%で前月(5.6%)から若干改善。全国は5.2%で前月(5.1%)から悪化。
- ・ 83年以降、失業率の最悪の値は、近畿7.1%(02年7-9月期)、全国5.5%(02年4-6月期、03年1-3月期、4-6月期)。

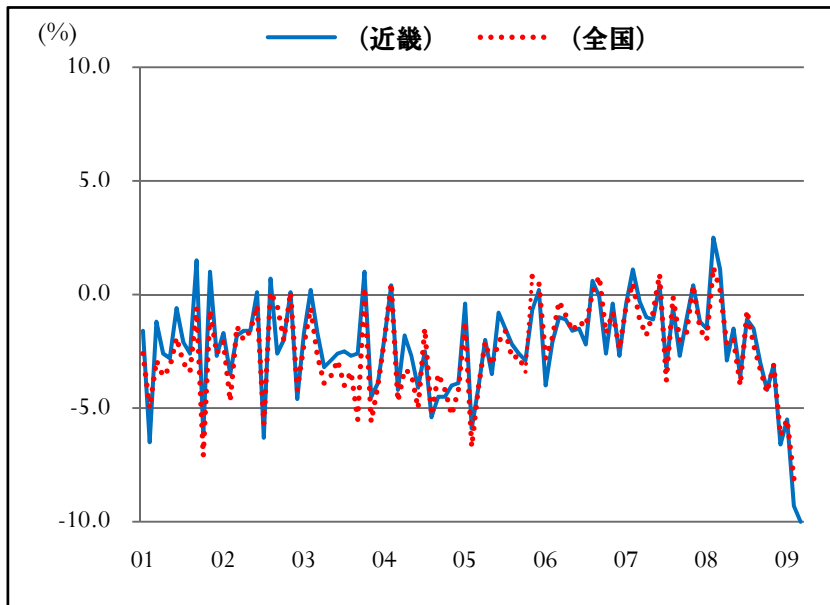
雇用調整助成金等に係る休業等実施計画届受理状況 (09年4月まで)

	近畿		全国	
	事業所数	対象者数	事業所数	対象者数
07/4-08/3	-	-	638	12,940
08/4-08/12	-	-	2,681	164,956
09/01	1,517	84,225	12,640	879,614
02	4,676	231,888	30,621	1,865,792
03	8,443	293,015	48,226	2,379,069
04	10,619	363,414	61,349	2,534,853

- ・ 雇用調整助成金の申請件数は12月に要件が緩和されてから、事業所数、対象者数とも急増している。

個人消費

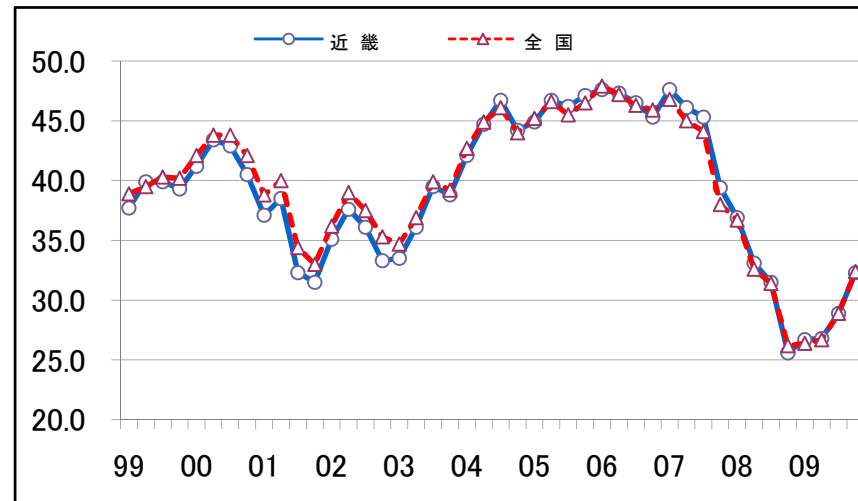
大型小売店売上高（前年同月比・09年3月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

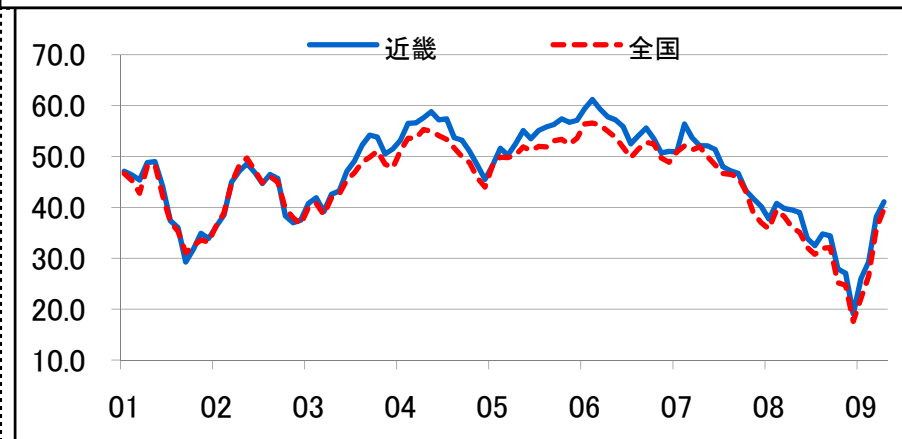
- ・個人消費は低調に推移している。近畿の09年3月の大型小売店売上高（既存店ベース）は前年比▲10.0%と12カ月連続のマイナス。
- ・百貨店は▲15.9%（13か月連続のマイナス）。すべての品目で前年同月比マイナス。衣料品（ジャケットセーター等春物衣料）、家具等の落ち込みが大きい。
- ・スーパーは▲5.3%と4か月連続のマイナス。「衣料品」（スーツ、肌着、ナイトウェア等）、「家具・家電・家庭用品」（冷蔵庫・洗濯機等）の落ち込みが大きい。2月（▲6.6%）からマイナス幅は縮小。
- ・4月に入って、美術品、宝飾品等一部特選ブランドに動きが出てくるなど、悪化緩和の傾向も見られる。

消費者態度指数（09年4月まで）



- ・4月の消費動向調査によると、近畿の消費者態度指数は32.3と、3月調査より+3.4改善した。

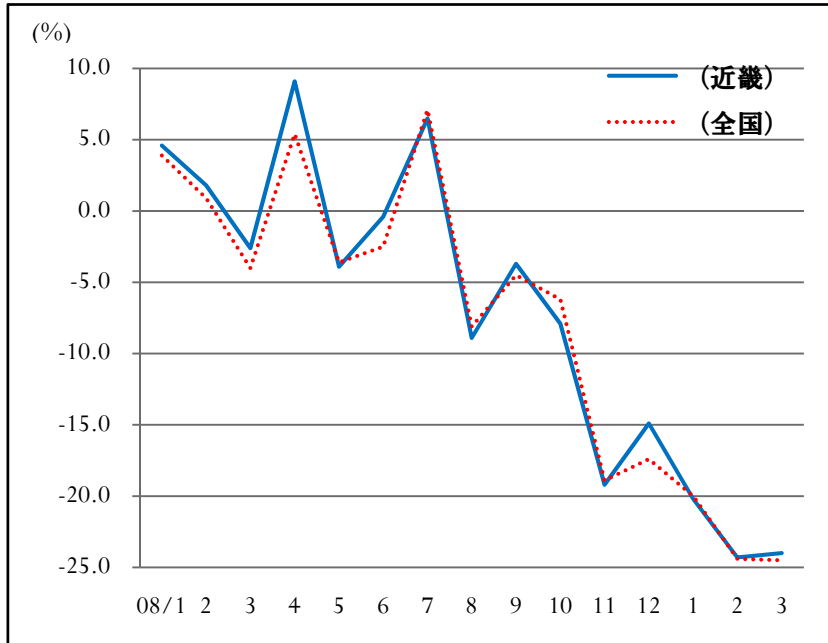
【参考】景気ウォッチャー調査（先行き判断DI 09年4月まで）



- ・タクシー運転手やスーパーやコンビニの店員などを対象とした本調査では、4月の近畿の先行き判断DIは41.1。4か月連続の上昇で3月から+2.9改善。

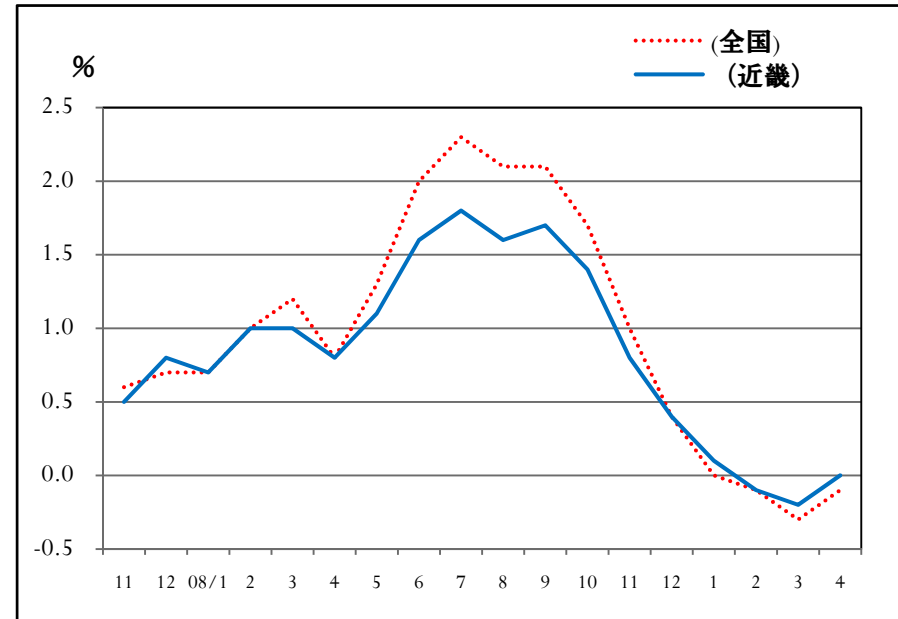
個人消費

新車登録台数（前年同月比・09年3月まで）



- ・ 近畿の09年3月の新車登録台数は、前年同月比▲24.0%と8ヶ月連続でマイナス。
- ・ 車種別では、普通車（▲36.2%）のマイナスが大きく、8カ月連続で前年を下回った。小型車（▲23.0%）が8カ月連続、軽四車（▲12.3%）が4カ月連続で前年を下回った。

消費者物価指数（前年同月比・09年4月まで）



（出所）近畿経済産業省

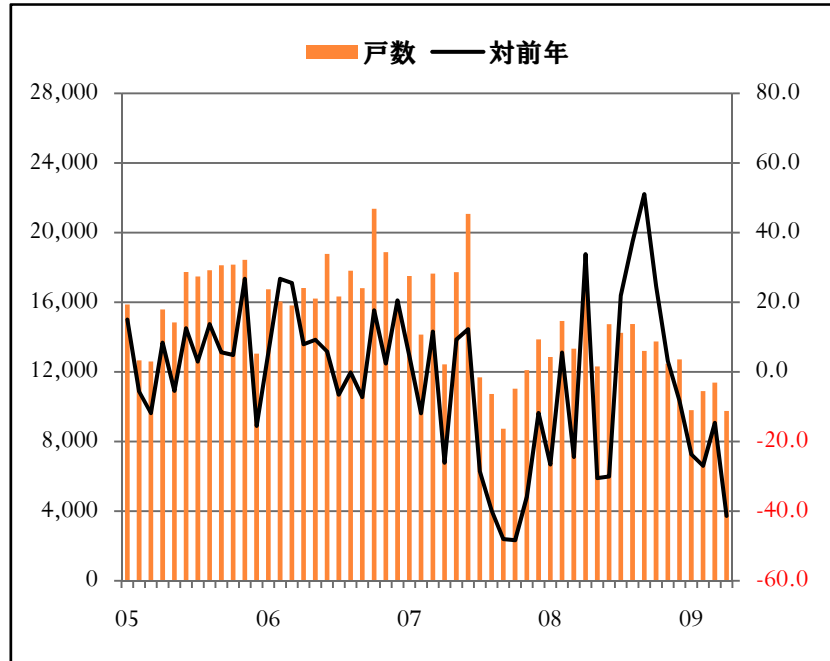
- ・ 近畿の09年4月の消費者物価指数は前年同月比0.0%で（全国は0.1%減）横ばい。
- ・ 交通通信(ガソリン)、教養娯楽等が低下に寄与。上昇したのは、食料等。

【参考—家電販売額】

- ・ 近畿の09年3月の家電販売額は前年比▲2.1%(全国+0.8%)。
- ・ 商品別では、カラーテレビ+12.1%、DVD+18.2%、空気清浄機+37.1%等が前年を上回った。マイナスだったのは、パソコン(本体)▲10.8%、エアコン▲14.4%、携帯電話▲27.0%等。

～住宅投資～

新規住宅着工戸数（近畿・09年4月まで）

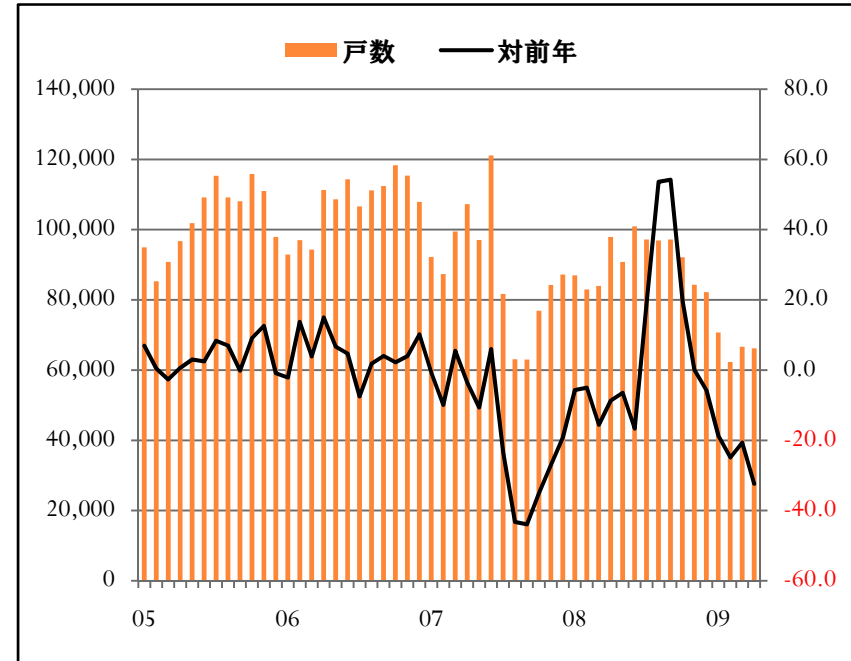


- ・新設住宅着工件数を見ると、4月は前年同月比▲41.4%と5カ月連続の減少。
- ・利用関係別の4月の対前年同月比は、持家▲17.4%、貸家▲48.3%、分譲▲53.7%。貸家、分譲のマイナス幅が大きい。

【参考ーマンション市場】

- ・近畿の09年4月の契約率は51.3%と、好不調の目安となる70%を大きく下回った。

新規住宅着工戸数（全国・09年4月まで）



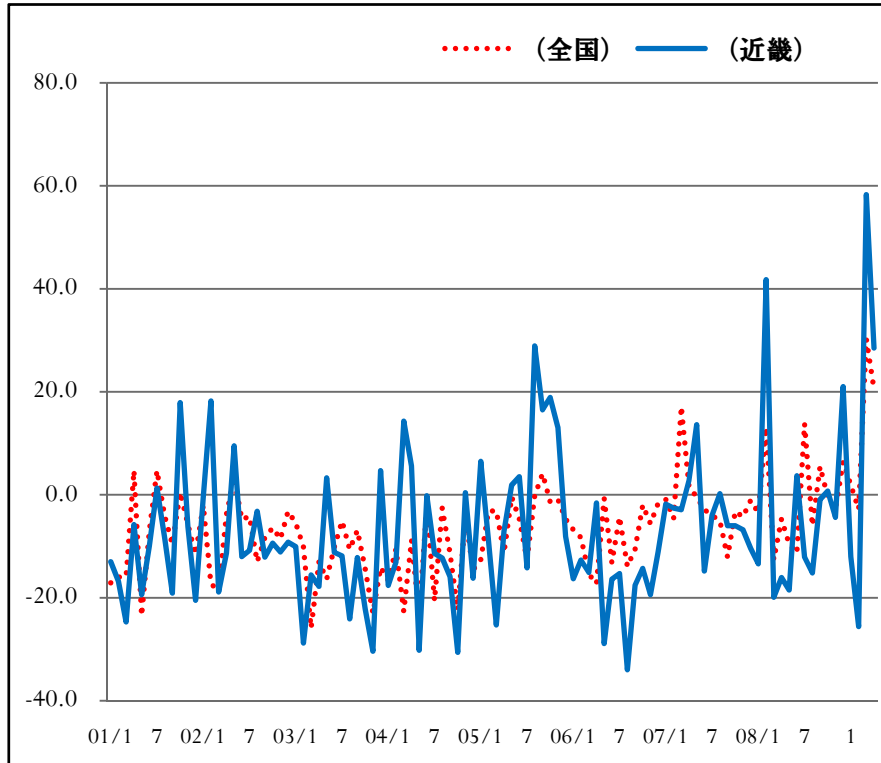
(出所) 国土交通省資料

- ・新設住宅着工件数を見ると、4月は▲32.4%と5カ月連続の減少。
- ・利用関係別の4月の対前年同月比は、持家▲15.8%、貸家▲33.0%、分譲▲54.3%。近畿同様、貸家、分譲のマイナス幅が大きい

(出所) 不動産経済研究所資料

～公共事業～

公共工事動向（前年同月比 請負金額・09年4月まで）

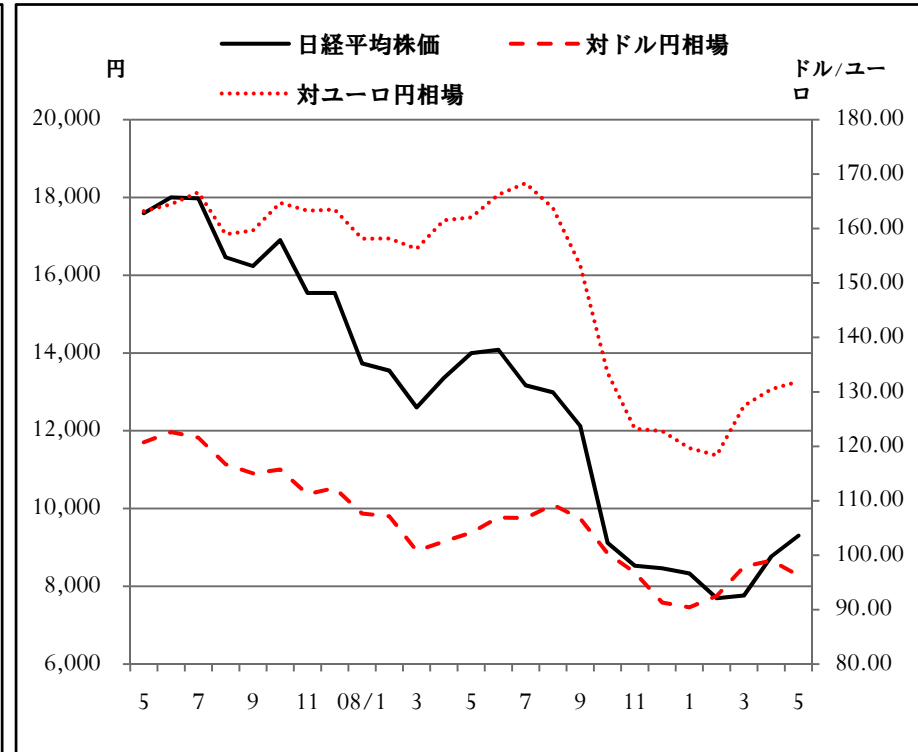


（出所）西日本建設業保証

- ・09年4月の近畿の公共工事は前年同月比+28.5%と増加し1,732億円となった。
- ・主な工事は、大阪市の北浜逢阪貯留管築造工事及び泉尾配水場建設工事、西宮市の東部総合処理センター焼却施設建設工事、堺市堺浜関連公共下水道建設工事、吹田市青少年拠点施設等建設工事、東近江市の小学校新築工事等。

～株式・為替相場～

株式・為替相場の動き（期中平均値・09年4月まで）



（出所）日本経済新聞社

- ・5月の日経平均株価(期中平均)は、9,304円で4月より536円上昇。
- ・5月の対ドル円相場(期中平均)は、96.3円で4月より2.7円の円高、対ユーロ円相場は131.92円で、4月より1.4円の円安であった。

～今後の経済見通し～

各シンクタンクなどの成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
三菱UFJ	関西(4/16)	-2.5%	-3.2%	—
	中部(4/16)	-3.2%	-3.6%	—
	全国(3/13)	-3.2%	-4.9%	1.1%
KISER	関西(2/24)	-2.2%	-3.1%	1.6%
	全国(5/26)	-3.5%	-2.2%	-1.1%

政府・日銀の成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
内閣府	全国(4/27)	-3.1%	-3.3%	—
	↑	↑	↑	
	全国(1/19)	-0.8%	0.0%	—
日銀	全国(4/30)	-3.2%	-3.1%	1.2%
	↑	↑	↑	↑
	全国(1/20)	-1.8%	-2.0%	1.5%

- ・ 関西経済については三菱UFJ、KISERとも、09年度マイナス成長、10年度はプラス成長を予測。
- ・ 内閣府 09年度経済見直しを見直し、実質GDP 09年度▲3.3%に下方修正。
▲3.3%には、経済危機対策による実質GDP押し上げ効果1.9%分が織り込まれている。
 - 内訳 民間最終消費支出 0.7%程度
 - 民間住宅 0.1%程度
 - 民間企業設備 0.4%程度
 - 政府最終消費支出 0.2%程度
 - 公的固定資本形成 0.6%程度
- ・ 日銀 実質GDP見直しを1月見直しから下方修正。08年度▲3.2%、09年度▲3.1%。10年度は+成長を見込む。